

## 第3号（報告事項）

### 令和5年度事業計画案

#### 方針

COVID19で知られた新型コロナ感染症も足掛け5年を経て、ようやく終息に近づきつつあります。海外からの入国制限が解除され、外国人観光客の姿も溢れるほど眼にするようになり、インバウンド需要が期待されるようになりました。一方、エネルギー価格の高騰をはじめとして、生産資材も値上がりし、これに伴って商品価格の値上げが相次ぐなど、諸物価の高騰が庶民の生活にも影響を及ぼすようになっていきます。

養鶏業界においては、鳥インフルエンザの多発による鶏の淘汰が相次ぎ、過去最高となる1,700万羽強が淘汰されました。結果、玉不足から鶏卵は歴史的な高値に張り付き、鶏肉も出荷数量が消費・加工品原料需要に追いつかず、これに輸入鶏肉のコスト高もあり、高値で推移しています。末端の情勢は悪くないように見えますが、種鶏孵卵業界にとりましては、依然厳しい状況が続いております。

飼料価格やエネルギー価格の高騰、生産資材価格の高止まり、人手不足や物価高に伴う賃金上昇等、素ひな生産コストの上昇を吸収できない状況が続いており、更なるひな価格の値上げが喫緊の課題であると思われまます。

一方、種鶏孵卵業界の使命であります良質なひなの安定供給の観点から、防疫指針に則った鳥インフルエンザ対策の徹底、種鶏孵卵の衛生管理技術の向上を図る必要があります。

また安定供給の観点から「種鶏導入計画」及び「素ひな生産見込み」について、計画生産検討会を引き続き開催するとともに、素ひな孵化羽数及び素ひな餌付け羽数の動向を把握し公表するなど、情報提供に取り組んでまいります。

### I 公益目的事業

#### 1. 種鶏導入調査事業（自主財源）

##### レイヤー及びブロイラー素ひな計画生産事業

養鶏産業の安定は、鶏卵・鶏肉の良好な需給関係の維持が基本であり、このため種鶏孵卵業界は、素ひなの適正需要に対応して高性能かつ清浄な安心できる素ひなを安定的に供給する重要な役割を担っています。

このため、種鶏の計画的生産・導入を行うことによって「素ひなの計画生産」を推進するために、レイヤー、ブロイラーともに年2回の種鶏導入計画

調査を会員等の協力によって実施し、これをもとに「素ひな計画生産検討会」を年2回開催し、種鶏導入羽数及び素ひなの生産見込み等を検討し、公表します。

2. 鶏ひな孵化羽数調査事業<孵化場体質強化推進事業の一部>

(JRA・自主財源、継続)

「鶏ひな孵化羽数データの収集調査」を引き続き実施し、鶏ひなのえ付け羽数等を迅速に報告するとともに、ホームページを活用して広く養鶏関係者に公表します。

3. 孵化場体質強化推進事業 (JRA・自主財源、継続)

良質ひなの安定供給を図るため、鶏ひなふ化羽数・え付け羽数データの収集及び種鶏管理や孵卵技術の技術研修を行い、種鶏孵卵場の経営の安定化を図ることを目的とします。

4. 畜産生産力・生産体制強化対策事業 (農林水産省、継続)

鶏の始原生殖細胞 (PGCs) の凍結保存等の習得及び普及

5. 持続的生産強化対策事業 (農林水産省、新規)

アニマルウェルフェア (AW) に配慮した飼養管理の普及拡大が必要とされる中、ふ化場における初生雛の取扱い方法について実態調査を行うとともに、専門家を集めた検討会を開催し推奨される手法等を検討します。その成果についてマニュアルを作成して全国のふ化場へ配布することで、AWに配慮したヒナの取扱い方法の普及を図ります。

6. 生産者経営安定対策事業 (受託、新規)

ふ化羽数から年次、年度における精度の高い鶏卵生産量を推計し、公表します。この数字を基に孵化場・育成業者・鶏卵生産者は、適正な鶏ひなを孵化・育成・成鶏舎編入し、ゆくゆくは採卵業界に係る全ての会社の経営安定につなげることを目的とします。

7. 鶏卵・鶏肉の消費促進事業 (自主財源)

全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力します。

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

## Ⅱ 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1. 地域協議会・委員会等組織強化対策事業及び種鶏・孵卵経営セミナー  
畜産・養鶏産業は国際化に対応した生産・流通体系の確立が求められており、業界の変化に対応して種鶏孵卵業の独自性を保ちつつ変革の激しい養鶏産業において種鶏孵卵業の位置づけを明確にしながら、種鶏孵卵経営対策としてのセミナーを開催します。

### （1）地域協議会、原種鶏部会

通常総会：令和5年5月～7月に開催

1. 東日本レイヤー孵卵協議会
2. 中部レイヤー孵卵協議会
3. 九州・四国レイヤー孵卵協議会
4. 東日本ブロイラー孵卵協議会
5. 西日本ブロイラー孵卵協議会
6. 原種鶏部会
7. 国産鶏普及協議会

2. 令和5年度定時総会、理事会等の開催

#### ・第48回 定時総会

開催日：令和5年5月25日（木）午後1時30分

場 所：馬事畜産会館 会議室

#### ・令和5年度理事会

第1回 開催日：令和5年4月14日（金）

第2回 開催日：令和5年7月14日（金）

第3回 開催日：令和5年10月27日（金）

第4回 開催日：令和6年2月15日（木）

場 所：各回 馬事畜産会館 会議室

#### ・種鶏・孵卵経営セミナー

開催日：令和6年2月16日（金）

3. 鳥インフルエンザ対策委員会活動

委員長 森 泰三